

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターとさっちくらぶ(放課後等デイサービス)				公表日	2026 年 3 月 10 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		1部屋あたりの子どもと支援員の人数を設定して状況に応じた部屋の使い分けを行い、学習や遊びなど場面に合わせたスペースを確保しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		子どもの人数や一人ひとりの状況を確認できるようにスタッフを配置し、臨時職員も活用することで、自由時間を含め常に職員が配置されている体制を整えています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		隣の部屋の音が刺激にならないようパーテーションで遮蔽し、子どもが活動場所を理解しやすいよう視覚支援や環境調整を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		何をやる場所なのかを視覚化して分かりやすく示し、おやつや勉強、運動、グループ活動といった活動内容に応じてエリアや部屋を分けるとともに、支援前には清掃を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		子どもの状況に合わせてパーテーションで個別スペースを設けたり検査室を開放したりするなど、利用する子どもに応じて柔軟に部屋の調整を行っています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的にカンファレンスやミーティングを実施し、月数回の頻度で現状の共有や目標設定についての話し合いを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		事業所内で随時課題について話し合いを行い、工夫するように努めるとともに、年1回の評価を実施してその内容を職員間で確認しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月に数回、現状を把握するために、定期的な面談やミーティングを行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		外部の専門家を招くほか、他施設からも支援内容についての評価を受けています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に1回、事業所内での研修やOJTを実施するとともに、県主催の研修や外部の研修会へも適宜参加しています。		
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		多職種でミーティングを行い、支援プログラムを作成しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		全体でカンファレンスを行い、支援内容を作成するとともに、定期的に標準化されたアセスメントを行っています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		日々のカルテにアセスメントを記載し、定期的に全職員が参加するカンファレンスやミーティングを行うことでチーム連携を図っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画を職員がいつでも閲覧できる状態で共有し、定期的なカンファレンスを通じて支援計画を確認しながら支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		適切な時期にフォーマルなアセスメントを行い、インフォーマルなアセスメントについても適宜カルテに記載しながら定期的に確認しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		必要な内容や項目に従って支援内容の計画を行っています。		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々の活動については職員間で話し合いを行い、カンファレンスやミーティングを通してチームでプログラムの確認を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員間や専門支援員のアドバイスを受けながら各職種で意見を出し合い、多職種で様々な面から支援が行えるようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動のそれぞれに支援が必要な子どもを配置し、どちらかに偏りすぎないように調整しながら支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		臨時職員も含めてその日の内容を確認するミーティングを行い、支援開始時にも職員間で情報共有をしながら支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		子どもの様子について終了後に振り返る時間をとり、次回までの改善点などについて支援後に話し合いを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		各職員が担当した子どもの支援の様子を日々カルテに記載し、必ず記録を残すようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に保護者との面談を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		毎回、活動内容が偏らないよう様々な経験ができる工夫をし、長期休暇には地域交流ができる支援も考えて行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○		自由遊びの時には自分で選べるようにし、スケジュールなど子どもが選択できる機会を作っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者や担当職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		健診やペアレント・プログラム等に積極的に取り組んでいます。また情報提供書や担当者会議などを通して連携できる体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校への送迎時なども含めて、学校との情報共有を行うようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前から継続して利用している子どもたちの情報把握はできています。その他情報提供書や担当者会議を通して情報共有を行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		情報提供書を作成し、情報提供をするようにしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		他施設へ研修で訪問したり、スーパーバイズを受けたりすることで、支援内容について意見をもらう機会を設けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		現在は他の子どもたちとの交流は行っていないですが、今後は交流の機会を増やしていきたいと考えています。	必要に応じて交流の機会を検討したいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		管理者を中心に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		お迎え時を含めた子どもの送迎時等に、保護者と当日の様子を共有したり話をしたりする機会を作るようにしています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		市と定期開催しているペアレント・プログラムは、チラシや声掛けで周知しています。今後は市外の保護者も参加できる体制を検討しています。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		利用開始時に説明するようにしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者には定期的な面談で意向を確認し、子どもにはSSTを通じて気持ちを聴く機会を作っています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		サービス計画について説明し、同意を得た上で支援を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		適宜面談も行いながら、保護者への支援や助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	研修会等を通して保護者同士が交流する機会があり、来年度にはさらに交流の場を設ける予定にしています。	必要に応じて交流の機会を検討したいと思います。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情に対する窓口を設置して対応するとともに、小さな困りごとがあった段階から施設内で話し合いを行い、迅速に対応するようにしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		行事等の開催時にはSNSでの情報発信を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		外部に情報が漏れないよう細心の注意を払っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的な情報伝達を心掛けるとともに、代替手段も検討しながら意思疎通を図れるよう支援を行っています。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	現在は地域の方を招待する行事は行っていませんが、今後は開催を検討していきたいと考えています。	必要に応じて交流の機会を検討したいと思います。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		毎月1回の委員会開催を通じて情報共有を行い、定期的な訓練や研修を実施するとともに、マニュアル等も自由に閲覧できるよう備え付けています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		毎月1回、避難訓練等の定期的な訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		利用開始時に保護者等に確認するようにしています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		おやつ等は、成分やアレルギーを事前に確認した上で提供しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		定期的に研修や訓練を行いながら、日々の支援に取り組んでいます。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難訓練の実施については、お手紙の配布やSNSでの発信を通じて、ご家族にも周知できるよう配慮しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		些細なことでも報告し合い、適宜作成した報告書の内容をミーティングで共有するようにしています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		外部への研修会の参加や事業所内での研修会を開催しています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在は身体拘束を必要とする子どもはおりませんが、利用開始時にはその旨を説明するようにしています。		